

シカゴマラソン 報告書

大会名： CHICAGO MARATHON 日時： 10月13日 結果： 8位

洞ノ上選手文責

2年振りのシカゴマラソンです。

シカゴマラソンは、朝7時20分スタートなので、薄暗い中でのウォームアップとなります。

その年の天候次第で、気温が激しく変わるので、調整がとて難しくなってきます。

コースの特徴としては、6メジャーの中でもアップダウンが少なく、フラットなコースとなっています。しかし、路面が悪く、タイムが出にくい難コースといえます。

レースは、前半の20kmは超スローペースとなり、先頭集団は20人くらいの大集団でした。20km地点にある橋をポイントとみていましたが、やはりそこでレースが動きました。チームイリノイで、一緒にトレーニングも行った世界チャンプのダニエルが、仕掛けました。それにワテンポ遅れて、イギリスのデイビッド、チームイリノイのアーロン、西田の順となり、私は、その三人から若干遅れて追いかけることになりました。1分ほどかけてなんとか前の三人に追いつき、そのまま先頭に出て、前を行くダニエルを追いかけてきました。

その後、先頭を交代しながら、逃げるダニエルを追いかけてきましたが、追いつくことができず、ダニエルに逃げを決められてしまいました。後続からも追いつかれて、その時には7人の第二集団が形成されていました。

その後も、ダニエルを追いかけた時のダメージが大きく、ペースは上がらず、そうこうしてる間に、さらに後続に追いつかれて、最終的には15人ほどの巨大な第二集団となっていました。その大集団でゴールスプリントとなっていました。

ゴール直前には、速度が20km/hほどに落ちる橋があり、30秒ほど駆け上がります。その橋まではフラットで、高速でのポジション争いが繰り広げられ、橋の登りではパワー勝負となります。大集団でのゴールスプリントは8位でのフィニッシュでした。

現状では、まだスプリント勝負は歯が立ちませんが、それでも確実に成長はしていると思います。さらに強化を行っていきたいと思います。

応援ありがとうございました。



レース前日の練習で、ミシガン湖から見たシカゴのビル群です。
左からアーロン、西田、エレンスト、ほっきー



ゴールスプリントです。
左の黒が2位のデイビッド、中央の白いレーサーが3位のエレンスト、その後ろがほっきーです。